

- 論文の種類（修士論文・修了論文）、論文題目を変更する場合は、「論文審査変更届」「論文題目変更届」を所定用紙により提出すること。
 - ※ 提出締切： **2024年 1月 15日（月）窓口事務取扱時間【厳守】**
 - ※ 2023年度においては、特別措置として、「論文審査変更届」「論文題目変更届」の署名捺印を省略することを認める。ただし、必ず指導教員の確認を得ていることが要件となる。指導教員への事前確認を怠って提出されたものについては、事後的に受理を取り消すことがある。
(メールでの提出は受け付けないので注意すること。)
- 論文提出の際には、提出締切時間を厳守すること。遅れたものは受け付けない。
 - ※ 提出締切： **2024年 1月 15日（月）窓口事務取扱時間【厳守】**
 - ※ メールでの提出は受け付けないので注意すること。
- 提出は論文4部、梗概4部 **※（論文および梗概3部は黒色厚表紙に綴じる）**。
 - ※ なお、論文は研究科において製本・保管・所蔵（閲覧に供する）する。製本に要する費用は自己負担とし、製本された論文1部を提出者に返却する。
- 「修士論文」として審査を希望する者については、口述試験を以下の要領で行う。修士論文とともに「口述試験受験届・論文取下願・後期課程受験希望届」を所定用紙により提出すること。
 - 日程：2024年1月下旬～2月上旬（後日周知）
 - 時間：1人20分程度（論文報告5分・口述試験10分・審査5分）
 - なお、「修了論文」として審査を希望する者については、口述試験は行わず論文審査のみ行う。
- 本文の字数は原則として**24,000字以上40,000字以内**。
 - ※ ワードプロ印字のうえ、**両面印刷でA4判サイズ**にすること。なお、フォントは**10.5ポイント**、1ページは**40字×30行**とする。
 - その他、論文の執筆に際しては、「同志社大学 経済学研究科 博士学位論文 執筆要領（第2版）」に記載の形式に従うこと。
- 巻末の参考文献目録、付図、付表等は原則として論文の制限枚数に算入しない。ただし本文中の図表については制限字数に算入する。
- 論文は黒色厚表紙（今出川キャンパス教務センター（経済学研究科）にて配付）にひもで綴じ、それぞれに**参考文献目録、梗概（2,000字程度）**、および提出者の**写真（たて4cm×よこ3cm）**を添付すること。**書式見本および先輩諸氏の論文を参照のうえ作成すること**。
- 製本に関する費用（5,720円）は、論文提出時に証紙で納入しなければならない。審査終了後に製本する。
- 論文は、原則として日本語で作成しなければならない。ただし、指導教員が英語で作成する必要を認めた場合、研究科委員会の上を待たうえで認められる。
 - ワード数：9,600ワード以上16,000ワード以内
 - 希望者は中間報告書の題目を英語で作成すること。
- 学術研究活動にあたっては、同志社大学研究倫理規準に則ること。